

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	キャリア概論
科目基礎情報					
科目番号	1038		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子システム工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	「高等専門学校生のキャリアプラン」 三好章一, 渡部章, 渡部博子共著 実業之日本社発行, 「高専手帳」 香川高専・宇部高専教員監修, 香川高専・宇部高専学生製作, メディア総研株式会社発行				
担当教員	月本 功				
到達目標					
キャリアアップにつなげるための基礎的な学習・体験を通じて、社会性・人間性を育てると共に、将来の進路設計の具体化ならびに職業観・勤労観を養育する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	社会人としてのマナーや知識を備えて相応しい行動ができる。		社会人または学生として必要な知識やマナーを備えている。		社会人または学生として必要な知識やマナーがない。
評価項目2	社会との関わりの中で自身が将来どのような技術者になるべきか説明でき、そのための準備に取り組んでいる。		自身の進路計画について考えを述べるができる。		自身の進路計画について考えていない。
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	キャリアアップにつなげるための基礎的な学習・体験を通じて、社会性・人間性を育てると共に、将来の進路設計の具体化ならびに職業観・勤労観を養育する。				
授業の進め方・方法	1学年から3学年の各学年において、年間10単位時間を当て、キャリア発達支援に関する講義・実習などの授業を受ける。年度初めに実施する項目を提示する。				
注意点	評価は合否とし、100点法では評価しない。出席状況、レポート提出状況をみて総合的に判定する。1学年から3学年までの3年間におけるレポート提出が3分の2に満たない場合は、不合格とする。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	高専1年生の心構え	自己とは何かを考えることができる。E6:1	
		2週	スケジュール管理とは	高専生活への適応を図ることができる。E1:1	
		3週	高専生の進路	自らの進路決定の準備。高専生の進路について知っている。D3:1	
		4週	ビジネスマナーとは、挨拶の大切さとは	マナーを知り、挨拶ができる。	
		5週	身だしなみの基本とは	マナーを知り、挨拶ができる。	
		6週	社会人としての言葉づかいとは、よく使う敬語	マナーを知り、挨拶ができる。	
		7週	学生と社会人(職業人)の違いとは	企業が求める人材は、知的能力、eQの高い人、コンピテンシーの高い人であることを知っている。D3:1	
		8週	働くとは(働く意味を考え直そう)	働くことの意味とすばらしさを考えることができる。A1:1,A2:2	
	2ndQ	9週	仕事とは	働くことの意味とすばらしさを考えることができる。A1:1,A2:2	
		10週	コミュニケーション、非言語コミュニケーションとは	企業が求める人材は、知的能力、eQの高い人、コンピテンシーの高い人であることを知っている。D3:1	
		11週	人間関係の基本とは	自立心を育てることができる。自分と他人との関係を考えることができる。E6:2,F3:2	
		12週	自分を知る、相手を知るとは	自然、人間、社会について考えることができる。	
		13週	チームワークとは	自然、人間、社会について考えることができる。	
		14週	効果的なコミュニケーションとは	自分と他人との関係を考えることができる。	
		15週	科学的仕事とは	自らの進路決定の準備。高専生の進路について具体的に理解できる。技術者として働くことの意味を考えることができる。A1:1-2,E1:2	
		16週	時間管理の基本スキルとは	知的能力、eQ、コンピテンシーについて理解できている。D3:1	
後期	3rdQ	1週	コミュニケーションの方法とは	知的能力、eQ、コンピテンシーについて理解できている。D3:1	
		2週	ファイリングの仕事とは	知的能力、eQ、コンピテンシーについて理解できている。D3:1	
		3週	リーダーシップとは	知的能力、eQ、コンピテンシーについて理解できている。D3:1	
		4週	リーダーシップとフォロアーズとは	知的能力、eQ、コンピテンシーについて理解できている。D3:1	
		5週	正解のない社会とは	自己を見つめることができる。社会と自分との関わりを自覚することができる。F3:3	
		6週	組織とは	社会と自分との関わりを自覚することができる。F3:3	
		7週	企業とは	社会と自分との関わりを自覚することができる。F3:3	
		8週	企業の目的とは	社会と自分との関わりを自覚することができる。現代社会の様々な問題に目を向けることができる。F3:3	
	4thQ	9週	利益追求活動とコストとは	現代社会の様々な問題に目を向けることができる。	

	10週	企業の社会的責任（CSR）とは	現代社会の様々な問題に目を向けることができる。
	11週	職業倫理とは	自分の進路を考えることができる。技術者として働くことの意義を考えることができる。E1:2,A1:1-2,A2:2
	12週	新入社員の役割とは	自分の進路を考えることができる。技術者として働くことの意義を考えることができる。E1:2,A1:1-2,A2:2
	13週	自己啓発のすすめとは	知的能力、感情能力、コンピテンシーを高める努力をすることができる。E6:1
	14週	高学年に向けての心構え	知的能力、感情能力、コンピテンシーを高める努力をすることができる。E6:1
	15週		
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前2,前16
			チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前13
			リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	後3
			適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	後3,後4
			リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	後3,後4
			自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	前3
			その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	3	前7
			キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	前8
			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	前14,後5
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
			企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	後7
			企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	後6
			企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	後7
			企業には社会的責任があることを認識している。	3	後10
			企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	後6,後7
			調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	後10
企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	後8			
社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	後12			
技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	後9,後10			
技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げるができる。	3				

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	100	100